

JGN2plusの現状と将来

大手町統括センター長

下條真司

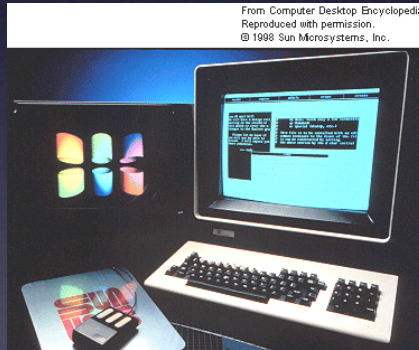


Interface Message Processor/BBN

ネットワークは大きく
変わっていない



CISCO CRS I



From Computer Desktop Encyclopedia
Reproduced with permission.
© 1998 Sun Microsystems, Inc.

sun I

www.yourdictionary.com/computer/sun

一方ユーザーは



サービスの多様性が必要



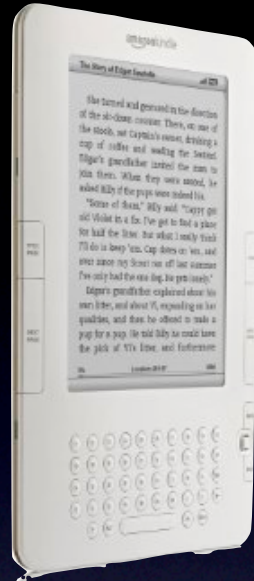
zojirushi

\$30/月



photovision/softbank

\$5/月



kindle/amazon

契約なし / 無料

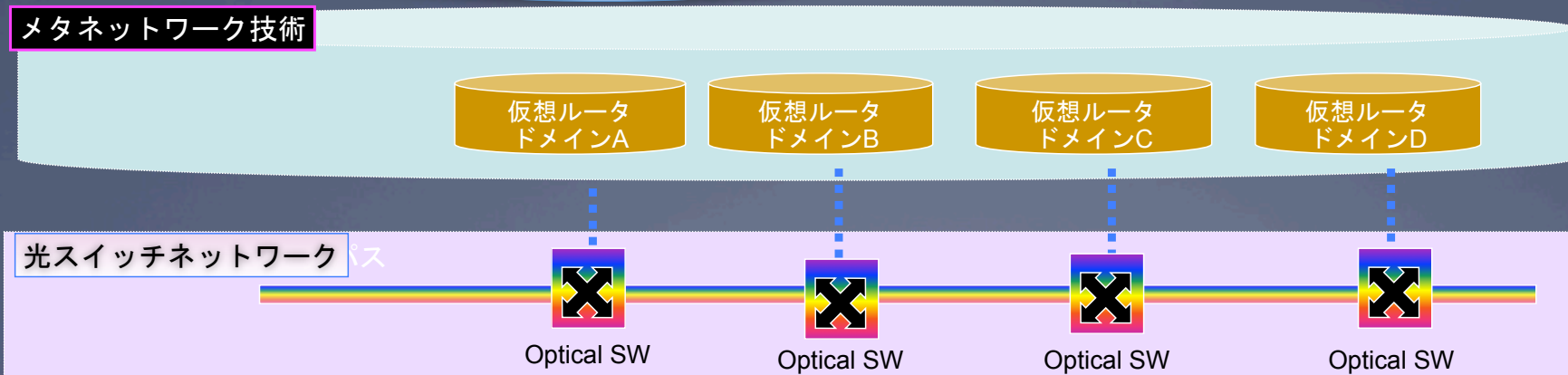
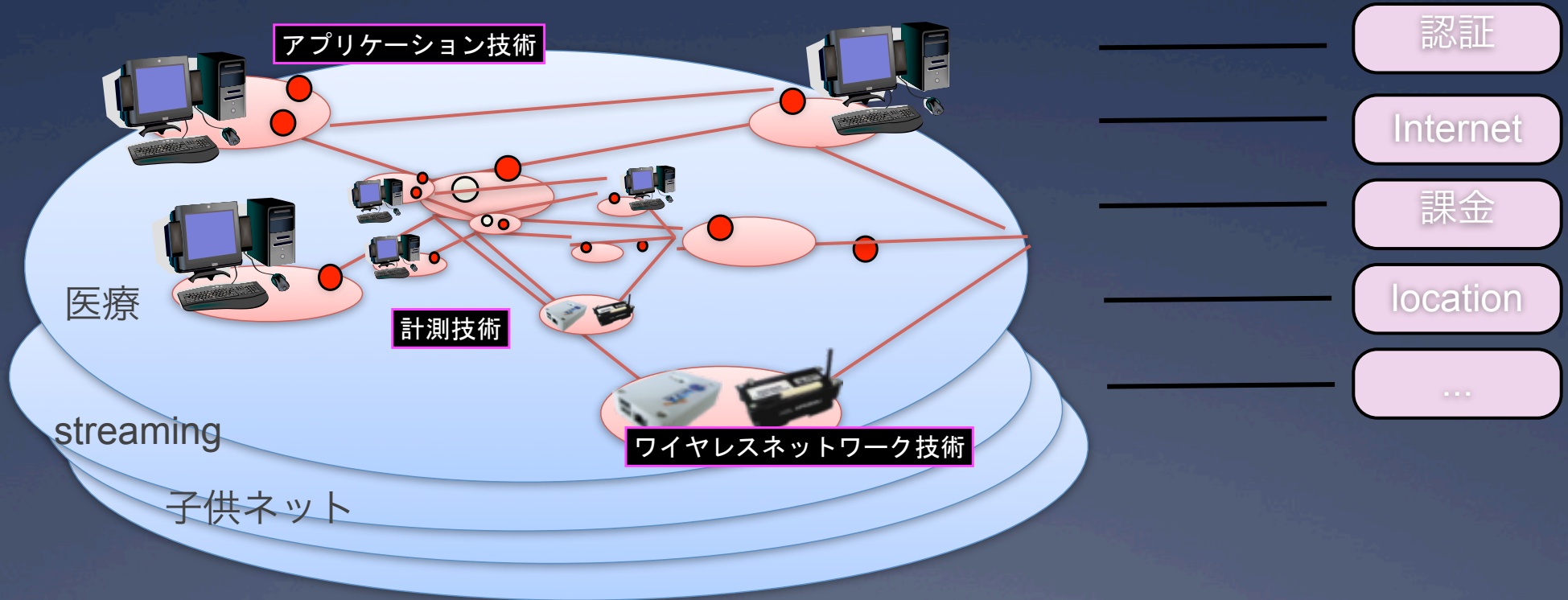


JGN-X: 新世代ネットワークのための持続進化可能なテストベッド

新世代ネットワーク＝サービス機能とネットワーク機能を自在にマッシュアップ可能なモバイルバーチャルネットワーク

- 新世代ネットワーク＝ネットワーク仮想化
- 仮想化（セパレート）することで
 - 必要な機能だけを最適化したネットワークを作り出すことが可能
 - 参加者やコンテンツを限定することでより安全なネットワークが構築できる
 - 無線も含めたVNO機能の柔軟な実現が可能になり、電波の有効利用、新しいビジネスの創出が可能になる
- 活用例：医療、見守り、農業、センサーネットワーク、コンテンツ配信

JGN-X



平成22年の取り組み

- R&E networkにおいてFIT (Future Internet Testbed)が出現する
 - Internet2, GLORIAD, APAN, JGN2Plus, ..
 - DCN他による専用環境
 - Openflow testbed
 - Corelab+Planetlab
- 国内における仮想化ノードの展開 (4カ所)
- パスパケットノードの実証 (2カ所)
- オープンワイヤレステストベッドの構築
- TDWによるアプリケーションプラットフォームの相互接続

利用者を見つけることが重要

JGN-Xの方針

- NICTと総務省の研究開発である、オプティカルネットワーク技術、ワイヤレス技術、新世代ネットワーク技術、クラウド連携技術のためのテストベッド
- 欧米・アジアと協調しながら、世界にのびる
- SINET4との協業
 - SINETのアクセスポイントは有効利用
 - データセンターも共用化
 - 国際回線の分業

JGN-Xの研究開発・運用（案）

